

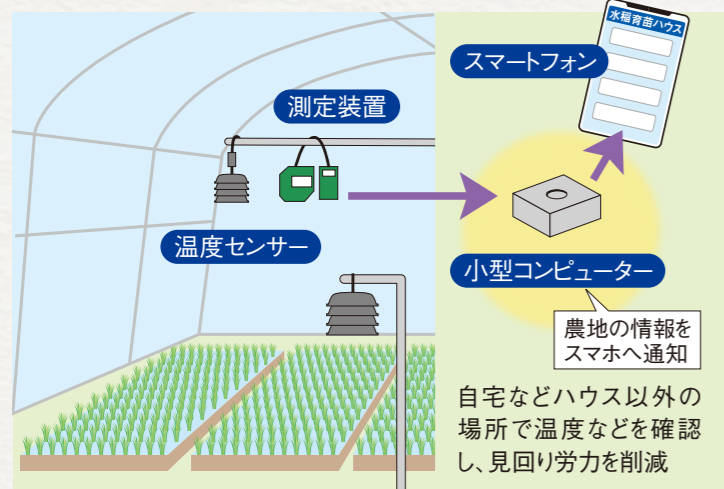
担い手通信

ninaitetsushin

vol. 4

先進事例情報

通い農業支援システムのイメージ



(農研機構のマニュアルを基に作成)

2万円で自作可 ◇見回り減

導入コスト試算(円)

測定装置に使うマイコン「ワイオノード(Wio Node)」	1,300
防水温度センサー	1,000
電源用USBケーブル	110
USB延長ケーブル	500
100V電源延長コード他	5,000
USB ACアダプター	1,000
Wi-Fiルーター	5,000
小型コンピューター「ラズベリーパイ(Raspberry Pi 3B+)」	6,000
合計	19,910

(農研機構のマニュアルを基に作成)

同機構・東北農業研究センターは「半日あれば組み立てられる。細かい設定や設置までみても3日ほどでできるだろう」とみています。システムは複数棟に対応できます。材料費は1棟分で1万9910円、3棟分で3万7730円、6棟分で6万4460円と試算します。別に、Wi-Fiルーター(3ギガバイト程度)の費用が1カ月に1000円ほどと見積もっています。ハウスに電源がない場合は太陽光発電を設置して給電すると、この費用は3万円ほどと見えます。安価に作れるため、市販の測定システムを割高に感じていた農家が導入しやすくなると同センターはみています。「自宅からハウスが遠い人や、ハウスが分散している人に特に試してみたい」といいます。

日本農業新聞 2021年9月14日

農研機構 マニュアル公開

農研機構は、2万円ほどで自作でき、ハウス内の温度をスマートフォンで確認できるシステムを開発しました。作成マニュアルもまとめ、ホームページで公開しました。無料通信アプリのLINEを使い、設定した時間ごとにハウス内の状況を知ることができる仕組みです。農家や従業員が自宅からハウスに通い、見回りの時間を削減できると期待しています。

ハウス内温度 スマホに届く

開発したのは「通い農業支援システム」です。ハウス内には、「ワイオノード」というマイコン測定装置を設置し、自宅などハウス以外の場所で温度を確認し、見回り労力を削減

設定した時間ごとにハウス内の温度をスマートフォンで確認することができます。作成マニュアルもまとめ、ホームページで公開しました。無料通信アプリのLINEを使い、設定した時間ごとにハウス内の状況を知ることができる仕組みです。農家や従業員が自宅からハウスに通い、見回りの時間を削減できると期待しています。

同機構・東北農業研究センターは「半日あれば組み立てられる。細かい設定や設置までみても3日ほどでできるだろう」とみています。システムは複数棟に対応できます。材料費は1棟分で1万9910円、3棟分で3万7730円、6棟分で6万4460円と試算します。別に、Wi-Fiルーター(3ギガバイト程度)の費用が1カ月に1000円ほどと見積もっています。ハウスに電源がない場合は太陽光発電を設置して給電すると、この費用は3万円ほどと見えます。安価に作れるため、市販の測定システムを割高に感じていた農家が導入しやすくなると同センターはみています。「自宅からハウスが遠い人や、ハウスが分散している人に特に試してみたい」といいます。

営農技術ピックアップ

WCS用稲の収穫作業分散技術

WCS用稲の規模拡大を目指して

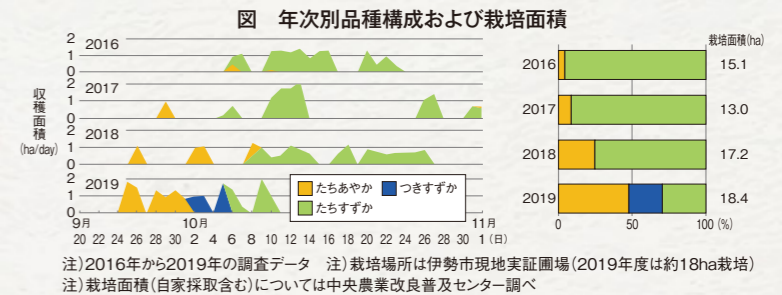
三重県では高糖分高消化性WCS用稲品種「たちすずか」の導入が近年急速に進んでいます。しかし「たちすずか」単一品種の栽培面積拡大により、WCS用稲の収穫作業が10月以降に集中し、後作の小麦栽培との作業競合が問題となっています。そこで「たちすずか」より黄熟期の早い高糖分高消化性WCS用稲品種「たちあやか」を導入することで、WCS用稲全体の収量を確保しつつ、収穫作業の分散技術の確立を目指しました。

5月下旬から6月下旬の間で最適な移植時期を検討したところ、収穫時期の作業分散の面からも乾物収量の面からも5月下旬の移植が最適と判断されました。

また、現地での収穫作業時期を調査したところ、「たちあやか」を導入することにより従来10月下旬まで行われていたWCS用稲の収穫作業が9月下旬から10月中旬までとなり、後作の小麦の播種作業と競合が生じない作業体系が確立できるとともに、

WCS用稲の栽培面積拡大が可能になりました。

なお、「たちあやか」は「たちすずか」と同様に、黄熟期の草丈が150cm以下であれば挫折型倒伏が生じにくくなることから、黄熟期の草丈が150cm以下となるような栽培法が有効です。



注)2016年から2019年の調査データ 注)栽培場所は伊勢市現地実証圃場(2019年度は約18ha栽培) 注)栽培面積(自家採取含む)については中央農業改良普及センター調べ

お問い合わせ先 生産技術研究室 農産研究課 ☎0598-42-6359
中央農業改良普及センター ☎0598-42-6705

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

JAバンク三重 専門家派遣事業

法人化 事業承継 労務管理

農業者の皆さまの悩みや課題を 専門家がサポートします

6次産業化 経営改善



★税理士や中小企業診断士などのプロがアドバイスを行います。
★最大で5回、**無料**で専門家のサポートを受けることができます。

「JAバンク三重専門家派遣事業」は、円滑な事業承継や経営の高度化を目指す農業者の皆さまの要請に応じ、専門的な知識や経験を有する専門家を派遣し、経営課題に応じた適切な診断・助言を行うことで、課題の解決を図り、皆さまの発展に資することを目的としています。ぜひ、ご利用ください。

実施期間
2020年4月1日
～2022年2月28日

対象者
●三重県内において農業を営む方および農業に従事する方
●三重県内において農業を営む法人
※課題が不明確な場合や受入体制が不十分などの場合は、ご希望に沿いかねる場合もございます。

詳細については各JA担当者までご確認ください

農業を営むすべての方に 農業経営資金

農業経営に必要な資金として幅広くご利用いただけます

トラクター・ドローンなどの農業機械購入	生産管理システムなどの先進技術導入
栽培用ハウス・畜舎建設	農地購入
	農業運転資金
その他 農業経営に必要な資金	

農業者の皆さまを応援するため
JAバンク利子補給制度で
金利負担を軽減します

基準金利 (変動金利:2021年4月1日現在)
年1.0% → 当初3年間の実質金利 年0.2%

【取扱期間】2021年4月1日 ▶ 2021年12月31日

詳しくはお近くのJAバンクまでお問い合わせください。
JAバンク三重 農業資金 検索 JAバンク 三重県下JA/JA三重信連